様式（第５条関係）

会　議　録

会議の名称	令和２年度第１回行田市史編さん委員会
開催日時	令和３年３月２９日（月） 開会：１３時３０分　・　閉会：１４時４０分
開催場所	行田市産業文化会館地下１階創作室
出席者（委員） 氏名	岸田昌久　劔持和夫　向井隆健 小島孝夫　根岸茂夫　坂本和俊
欠席者（委員） 氏名	津田馨　田村均　田代脩
事務局	文化財保護課長　中島洋一 文化財保護課主事　依田健太
会議内容	別紙会議録のとおり
会議資料	・当日配布のものを別添
その他必要事項	

会議録の確定	確定年月日	主催者記名押印
	令和　　年　　月　　日	

発言者	会　議　の　経　過（議題・発言内容・結論等）
	＊市民憲章唱和（コロナ禍のため省略） １．開会
中島課長	２．あいさつ（文化財保護課中島課長） 　教育長、部長が所用で出席できないので、代わって挨拶申し上げる。約１年前にこの会議を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で開催が延期となった。予算の関係で、資料編『考古』の刊行も延期となり来年度となった。編さん委員の皆様にはあと１年間よろしくお願い申し上げる。本日は資料編『考古』の内容について検討をお願いしたい。
事務局	３．委員長・副委員長の選出 （委員長選出）事務局から、委員長の立候補者を求めたが、立候補者がいなかったため、事務局から岸田昌久氏を委員長として推薦。承認される。
岸田委員長	（委員長あいさつ）引き続き、市史編さん委員の委員長をさせていただきます。先に中島課長からお話があったが最後の資料編『考古』の刊行まで残り１年となっている。市史編さん委員の皆様には最後までお力添えをお願いいたします。本日はよろしくご討議いただきたい。 （副委員長選出）委員長から副委員長の立候補者を求めたが、立候補者がいなかったため、事務局から津田馨氏を推薦。 承認される。
岸田委員長	４．議事 　岸田昌久委員長が議事を進行。
事務局	（１）令和元年度・令和２年度事業報告について 　◎令和元年度の事業報告 　１　事務局の活動について 　　①資料編『考古』の編さんへ向けた業務について 　会議資料をもとに、紙焼写真・ネガフィルム・スライドの整理、

	収納、目録作成、写真撮影を行なう遺物のリストアップの完了等について説明。 ②資料編『考古』編さんに伴う委託事業について 会議資料をもとに、令和元年度は地形確認のため、斎条地区にて３月上旬に古地形復元ボーリング調査を実施したが、埋没台地は検出されなかったこと、谷郷地区にて、利根川路跡探索を目的に３月上旬に古地形復元ボーリング調査を実施したが、利根川の流路跡は検出されなかったこと、両調査で古地形復元のデータが得られたこと等を説明。 ③これまでの編さん業務の整理・管理関係 会議資料をもとに説明。 ④調査 会議資料をもとに、アライヤ写真館所蔵の初午稲荷祭の幟旗の写真記録、目録作成等について説明。 ⑤行田市史および編さん資料をもとにした教育普及活動 会議資料をもとに、荒木公民館での講座実施等について説明。 ２　専門部会（考古）の活動についての報告 ①会議の開催 会議資料をもとに説明。 ◎令和２年度の事業報告 １　事務局の活動について ①資料編『考古』の編さん関係業務 会議資料をもとに、入稿用の調査位置図等デジタルデータ作成、過去の発掘調査報告・記録の収集と目録化作業、報告書掲載遺物から写真撮影すべき遺物の選定がほぼ完了したが撮影はまだ行っていない状態であること等を説明。 ②これまでの編さん業務の整理・管理関係 会議資料をもとに、手書き原稿、フロッピーディスクの保存媒体問題等について説明。 ③行田市史および編さん資料をもとにした教育普及活動 会議資料をもとに、荒木公民館での講座実施等について説明。

	２　専門部会（考古）の活動について ①調査 会議資料をもとに、北河原地区と下忍地区にて１１月に古地形復元ボーリング調査を実施したこと等を説明。 ②原稿の執筆 会議資料をもとに、部会全体の会議は開催せず、事務局と各時代担当の専門調査員と個別に協議して執筆分担を決定したこと等を説明。
岸田委員長	＊質疑・応答 事務局から説明があった（１）令和元年度・２年度の活動事業について、質問、意見等あればお願いしたい。
岸田委員長	令和元年・２年度の活動事業全般について質問させていただく。過去の収集資料の整理についてだが、フロッピーディスク等、直接の保存媒体のデータがダメになることはないのか。
事務局 （中島）	保存媒体の変化に伴ってデータが読み込めなくなることがある。それに対応するため、データの移し替え等を行なっているが、少量だがデータが読み込めないものが存在している。そうしたデータについては、読み込む方法について調査・検討を続ける。
岸田委員長	他に質問、意見等がなければ、議事（１）は了承で良いか。 （一同了承）
事務局	（２）令和３年度事業計画について １　事務局の活動について ①資料編『考古』の編さん・刊行関係業務 会議資料にもとづいて、入稿用の各種デジタルデータ作成については、地図の部分については半分ぐらい完成しており、残りの部分として、過去の発掘調査・記録の目録化作業に注力すること、資料編『考古』の印刷業者については、６～７月中に入札・選定を行う予定で、入稿までに、構成、図版等の細かな体裁について会議を開いて決める予定であること等を説明。 ②これまでの編さん業務の整理・管理関係

	会議資料にもとづいて、デジタルデータの活用が可能なように整理・保存をおこない、引き継いで行くこと等を説明。 ２　専門部会（考古）の活動について ①会議の開催 会議資料をもとに説明。 ②原稿の調整・校正、掲載写真・図版等の確認・選定・校正 会議資料をもとに説明。
岸田委員長	＊質疑・応答 事務局から説明があった（２）令和３年度事業活動計画について、質問、意見等あればお願いしたい。 （質問、意見等なし）
岸田委員長	質問、意見等がなければ、議事（２）は承認で良いか。 （一同了承）
事務局	（３）資料編『考古』の編集・刊行について 会議資料１～３にもとづいて説明し、内容・目次等については、今後大きな変更はないと思われるが、予算の関係や編集の都合等で細かな変更は有り得るため、そうした細かな変更について再度この委員会で諮るべきか、考古部会と事務局に一任いただけるのかご審議いただきたいと説明。
岸田委員長	事務局から説明があった（３）資料編『考古』の編集・刊行について、考古部会長の坂本委員から補足等ありますか？
坂本委員	今回の資料編『考古』では、ありきたりの資料の概説ではなく、過去の発掘調査資料を新たな視点で見直して解説するよう心掛けている。埼玉古墳群以外にも行田には多くの重要な遺跡・遺物が検出されている。それらについて、市民の方にも知っていただけるような内容にしたいと考えている。
岸田委員長	＊質疑・応答 事務局や坂本委員から説明があった（３）資料編『考古』の編集・刊行について、質問、意見等あればお願いしたい。

劔持委員	今後、資料編『考古』の文章、レイアウト等の打合せはいつごろになるか。また、予定の発行部数についてはどれくらいの数を見込んでいるのか。
事務局 （中島）	原稿を取りまとめて５月中には『考古』部会を開き、入札の仕様等をつめて行きたい。発行部数はこれまでは８００部であったが、予算の関係で、発行部数、ページ数に変更が生じる可能性がある。変更があった場合、この委員会で諮るべきか、考古部会と事務局に一任いただけるのかご審議いただきたい。
劔持委員	考古部会と事務局に一任でよいのではないか。その上で考古部会と事務局が、委員会で諮るべきと判断されれば、委員会を開いていただきたいと思うがいかがか。 （他の委員も劔持委員の意見に賛同。資料編『考古』の内容・部数等の変更については、考古部会と事務局に一任された。）
根岸委員	今までの市史編さん(近世・近代)で掲載できなかった史料を今後、市民に公開、提示できるような方向性はあるのか。
事務局 （中島）	今回の市史編さん事業で収集した資料については、市史に掲載できなかった資料も含めて、今後策定予定の「文化財保存活用地域計画」の中で保存・活用を考えて行きたい。 市史編さんでこれまでに収集した資料については、ファイリング中で、ファイリングが終わった資料については、郷土博物館の図書室で保管している。（著作権等の）問題がない資料は閲覧も可能である。
小島委員	「文化財保存活用地域計画」の話が出たが、それについて今後の方針をお聞きしたい。現在、文化庁が全国市町村に対して「文化財保存活用地域計画」を打診しているが、行田市は策定の予定があるのか。埼玉県内では白岡市がエントリーしている。 市史編さんの終了後、市史の整理作業を展望させる意味でも、「文化財保存活用地域計画」を検討していただければと思う。
事務局 （中島）	市の長期計画で、「文化財保存活用地域計画」策定が位置付けられている。令和３年度に策定準備を行い、令和４～６年に策定を行う予定である。市史編さんで収集したデータを「文化財保存活用地域計画」策定で活用して行きたいと考えている。
小島委員	行田市は歴史的資産が多くあるので、「文化財保存活用地域計画」をぜひ策定していただきたい。私は文化庁の「文化財保存活用地域計画」に関する委員もしているので、必要があれば協力する。

岸田委員長	他に質問、意見がなければ、議事（３）は承認で良いか。 （一同了承）
岸田委員長	その他にないようであれば、これで議事を終了し、司会進行を事務局にお返しする。 ５．閉会